

から
考える

アートとフェミニズムは 誰のもの？

アートを通して、ジェンダーの問題に気づききっかけを

美術作品や美術界をフェミニズムの視点で読み解きながら、
日常に潜む性差別について考える機会を提供します。

現代美術って
どうしてこんなに
分かりづらいの？

2025 | 3.16

日

10:30 - 12:00

秋田市文化創造館2階スタジオB

(秋田市千秋明徳町3-16)

対 象 どなたでもご参加いただけます。

定 員 先着40名

参加費 500円 (ワンドリンク付き)

講 師

秋田公立美術大学
助教

村上 由鶴

1991年生まれ。秋田公立美術大学ビジュアルアーツ専攻助教。単著に『アートとフェミニズムは誰のもの？』(光文社・2023年)、晶文社スクラップブック「わかった気になる一反差別の手立てとしてのアート鑑賞」、POPEYE「そもそも写真教室」などを連載中。

美大生は女性が多いのに
なぜ女性作家は少ないの？

フェミニズムが
一部の人のものになっ
ているのは
どうして？

申込み

2月10日(月) 正午から受付開始

秋田市
男女共生講座「アートから考えるジェンダー」

①氏名②電話番号③年代をメールまたは
電話により下記までお知らせください。
定員になり次第終了。

秋田市生活総務課女性活躍推進担当
mail danjyo@city.akita.lg.jp
tel 018-888-5650

メールは
こちらから

